FMR Audio

PBC-6A

Mono Compressor

取り扱い説明書

（株）アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

＊ この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。

無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

PBC-6A

Startup Notes

Overview

No threshold

PBC-6A にはスレッショルドの設定はありません。固定された threshold を上回る信号が入力されるとコンプレッション動作を開始します。入力信号のダイナミックレンジを有効に使えるため S/N 比の向上にも有利な方式です。

Level Dependent Ratio

レベルオートレシオ

PBC-6A フィードバック構成によるレベルオート RATIO 設定を可能にしました。PBC の検知器は信号レベルが高くなるほど大きいコンプレッション動作を行います。スレッショルド付近では、RATIO の変化は低いレベルから高いレベルまでスムースな変化を実現しています。

Knee Control

コンプレッションニーのコントロール

低い RATIO～高い RATIO への移行行うレンジの幅をコントロールします。レシオが移り変わる動作を狭い範囲で完結させるハードニーから大きく緩やかに行うソフトニーまで、無段階のコントロールを行います。主張の強い効果から、自然で密度の高いサウンドまでダイナミックに操ります。PBC の検知器はフィードバック構成とすることでより自然なゲインリダクション効果をを実現しています。

これらの 3 つの大きな要素が繊細でナチュラルな効果から、攻撃的でアグレッシブなサウンドまで柔軟に対応する PBC-6A の優れたサウンドを引き出しているのです。

Controls

DRIVE

PBC のフィードバック構成はコンプレッション量とメイクアップゲインを1つのコントロールにすることを可能にしています。DRIVE コントロール大きくすればより深いコンプレッションを得ることができます。

KNEE

KNEE コントロールが時計回り方向の場合はハードニーとなりスレッショルド付近の狭いレンジの中でレシオの移行を行います。入力の変化量が小さくてもレシオは大きく変化します。反対に KNEE コントロールが反時計回り方向の場合はスレッショルドを中心に広い範囲で徐々にレシオ移行を行う〈ソフトニー〉へと変化します。入力の変化量が同じでも緩やかにレシオを移行させることができます。

ATTACK

通常のアタックタイムです。PBC がどのくらいの速さで入力信号をコンプレションし始めるかをコントロールします。ま

RELEASE

通常のリリースタイムです。コンプレッションしてから元のゲインに戻るまでの時間を決定します。

OUTPUT

出力レベルの調整を行います

BYPASS

バイパススイッチです。入力信号、またはPBCのバランスラインドライバーのセレクションとしても使用ができます。

THICK

PBCのリリースのキャラクターを切り替えて、より太いサウンドに変化させるスイッチです。注目すべきサウンドに仕上がっています。従来のFMR Audio製品とはまた違った反応となるキラースイッチです！

SECIAL FEAUTURES

Bypass と Thick の両方のボタンを押すことにより PBC はスペシャルモードにエンターできます。再度両方のボタンを押すとスペシャルモードが無効になります。スペシャルモードでは LED が点滅状態になります。

1、サイドチェインフィルターの調整

キックやベースなどの低域に過剰に反応しサウンド全体が不自然なってしまうポンピングを防ぎます。スペシャルモードにエンターすると、現在のサイドチェインフィルター設定が GAIN リダクションメーターに示されます。

Table 1: Indication of Sidechain Filter Frequencies

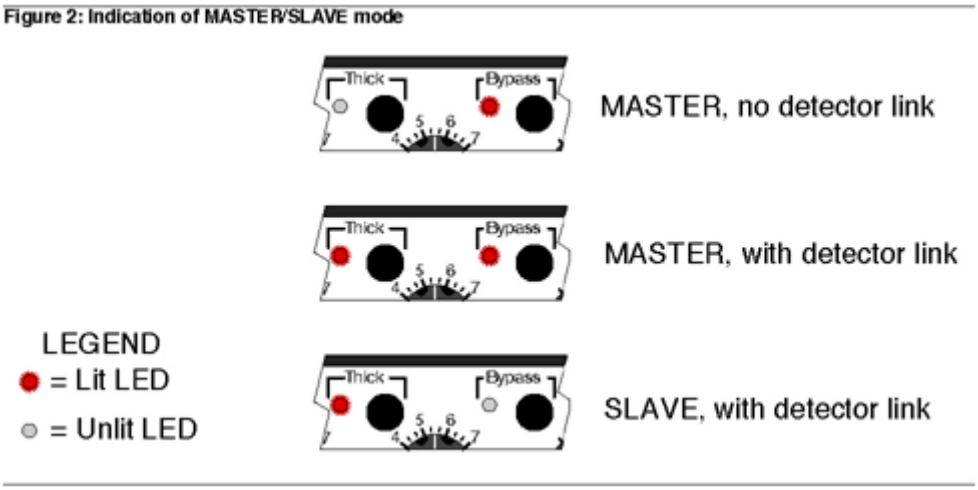
LED Marking	Corner Frequency (Hz)
3	30
6	42
9	60
12	85
15	120
18	170
21	240
24	340

これらの8つの LED はセカンドオーダーのサイドチェインフィルターのコーナーフリーケンシーを表しています。Thick スイッチを押すごとに 1 ステップずつコーナーフリーケンシーが変化させることができます。

2、ステレオリンク

3通りのステレオリンク方法があります

Figure 2: Indication of MASTER/SLAVE mode



・デテクターなし、マスターなし

PBC-6A は（アナログ回路を）デジタルコントロール制御しているため個々のユニット間のキャラクターの誤差は最小です。そのためリンクをとる必要は特にない場合もあります。もし 2 台の PBC-6A を使用したのであれば個々の PBC-6A に信号を送り、それぞれのユニットを同じ設定にするだけでも良いのです。

・デテクターをリンク、マスターなし

TRS-TRS ケーブルで 2 台の PBC の Link ジャックを接続します。この場合 2 台の VCA(voltage-controlled amplifiers)は完全に等しく動作するようになります。またデテクターの出力もリンクしていますので、個々のチャンネルがそれぞれ独自のセッティングになっている場合には興味深い結果が生まれる場合もあります。

・デテクターをリンク、マスター/スレーブ設定

リンクケーブルを使用することで 2 台の PBC をセットアップ可能ですがデテクターをリンクさせるだけではありません。片側をマスターとして使用することで、両方の PBC にパラメーターセッティング

を適応させることができます。

SPECIAL MODE である時に BYPASS ボタンをおすことで3タイプのモードを選択できます。SPECIALMODE では BYPASS ボタン脇のボタンが PBC がマスターの状態か、またはスレーブの状態かを表しています。LED がオンの時はマスター、LED がオフの時にはスレーブを表します。THICK ボタン脇の LED はデテクターのリンク状態を表しています。SPECIALMODE に入っているときに BYPASS ボタンを押すごとにこの 3 つのステイタスが切り替わっていきます。

＊PBC 2 台のデテクターをリンクさせる時には必ず TRS-TRS ケーブルで PBC の LINK ジャック同士を接続してください